

式典では、横尾市長が成人の年齢を迎えた意味や役割、大切なことを伝えた後に、「みなさんが活躍するこの21世紀の新しい知識を仕事や学びの場で得てください。そして、そこに留まらず知恵を発揮できるように頑張ってください。また、出会う人や書物、出来事に苦しくてもありがとうを言って受け止め、そのことで自分を生かすにはどうすべきかを考えながら徳を高める努力をして、人間性を高めてください。さらに、体力、気力が大切で、自分の体は早め早めにチェックして、健康づくり、体力づくりをしていただきたい。孔子様のみならず、その儒学の教えの中にある「知・徳・体」を高めれば色んなことができるようになります。夢を叶えたり、感動や感激の日々が生まれる色んなチャレンジを」と。また、感動的だった宇宙探査機はやぶさの帰還を話題に「日本には小さなことにも、大きな夢に向かうことにも人材が育っています。みなさんはそういう人材となって、それぞれの場で大いに力をつけて、未来に大きく羽ばたいてほしいと思います。卯年の今年、みなさんの飛躍とジャンプを心から祈念します」と、エールを贈りました。

牛島市議会議長も「大きく変わろうとしている社会はみなさんの力を必要とし、大切な位置にいます。未来の希望や夢は、自分が思えば手が届く所にあります。大地にしっかりと

足を根ざし、頑張ってください。おめでとー」と激励しました。この後、3人の新成人が代表で誓いのことばを述べると、会場の一人ひとりも思いを重ねていました。式典後は、中学校区毎に記念撮影があり、希望を胸に決意を新たにしたり晴れやかな瞬間を写真におさめていました。

成人式は、保護者の手を離れ、自分の意思で人生を歩み出すスタートであり、社会的な権利を手に入れるとともに、義務と責任を負うことへの宣誓の儀式。多久市では、県内でもいち早く、新年の帰省時期に合わせ行っています。

なつかしい友と久々の再会を喜び合った出席者は、時間が経つのも忘れ、思い出話や近況に花を咲かせ、連絡先を交換したり、写真を取り合ったりしながら、20歳の特別な時間を過ごしていました。

●特集I● 平成23年多久市成人式

感謝と感動で祝った 知・徳・体を

平成23年成人式（多久市、多久市教育委員会主催）を1月3日、中央公民館で開きました。新成人のみなさんは、華やかな振袖や羽織袴、真新しいスーツなどに身を包んで出席。祝福の言葉を受け、支えてもらった多くの人やこの日の開催に感謝しながら大人としての自覚や決意を新たにしました。

中央中3年4組の担任・石橋明美先生(現在は三日月中)

『5年後の自分へ』宛てた手紙を手渡しに駆けつけました。仲が良かったクラスメートたちは純粋さが残っているものの、立派に成長した姿が嬉しい。責任感があって周りの人を助けられる大人になってください。みんなの今後に期待します。

のぞみ保育園の大塚正直園長
幼い頃が思い起こせないほどすっかり大人になった姿に感激。責任のある社会人になってください。

恩師を
囲んで



夢や目標を叶えるため、
いっそう努力します



泉 琢也さん
(西溪中学校区代表)

本日、私たちがここに集い、成人式を迎えることができたのは、ともに歩んできた仲間、導いてくださった先生方、温かく見守ってくださった地域の方々、そして何より両親の支えがあったからです。

これからは成人としての義務と責任を果たし、自分を見失わず若者らしく一日一日を大切にしながら社会に貢献するとともに、今まで以上に高い志を持ち、夢や目標を叶えるためによりいっそう努力します。そして、これからも学問の里「多久市」で生まれ育ったことを誇りに思い生きていくことを誓い、今日まで私たちを支え、励ましてくださった全ての方々に深く感謝申し上げます。

高い志をもって
人間形成をしたい



円城寺 悟士さん
(東部中学校区代表)

私たちは成人となり、これからはいっそう責任をもって行動、判断をしていかなければなりません。それ以上に新しいことにチャレンジをしていき、多くの可能性を広げていきたいと思えます。

希望や期待もありますが、今一番感じているのは、これまで支えてきてくださった人々への感謝の気持ち。特に両親への気持ちは大きく、色んな形で恩返しできればと思い、これからは一人の社会人として恥ずかしくないように、高い志をもって人間形成を図っていきたいと思えます。